

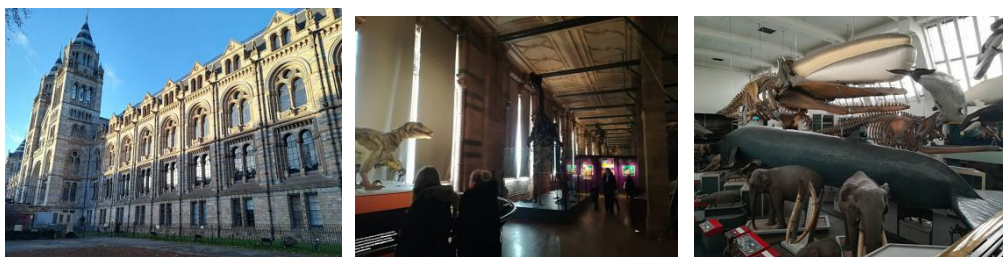
イギリスに来てから4か月近くたち、秋の学期も二週間近く前に終業式を迎えました。私がいる学校は、私立のためか嬉しいことに休みがかなりあります。秋の学期は9月から始まりますが、三週間毎に休みが挟まります。一回目は **leave weekend** の名の通り週末の二日間、そして二回目が **half term** で二週間休みがあります。その後は **leave weekend** をもう一度はさみ、今は四週間の **Christmas holidays** の最中です。休みの間は寮に残ることなく、家やホストファミリーのもとに帰ります。休みには宿題ももちろん出ますが、家で休んだり友達と遊びに行ったりと楽しんでます。今回は遊びに行った中でのイギリスの特徴のあるものを紹介したいと思います。

#### ①The British Museum (大英博物館)



大英博物館には、日本にいたときに副教材で見たことがあるようなものが多々ありました。日本では3か月しか世界史に触れなかったですが、それでもアッシリア文明、エジプト文明、ギリシャ文明などの自分の知っている彫刻や展示物を見ることができました。その他にもインドの文化やローマ、中東の彫刻を見ることができました。なにより紛争や不安定な地域にあり、実物をみることができなかつたであろうものを触れたり目の前で見ることでよい経験でした。また、募金と呼び掛けるだけで無料なのにも驚きました。友達曰くその理由は、募金だけで運営できるのも確かですが、大英帝国時の世界各地から収集されたものにたいする代償だそうです。その歴史観や文化財は一国のものではなく人類のものであるという概念 **Universal Museums** も勉強になりました。

#### ②The Natural History Museum (自然史博物館)



この自然史博物館は、大英博物館から分離した地学生物学を中心に扱っている博物館です。恐竜の化石から人間の身体の構造、動物の進化、鉱物や火山地震まで幅広い内容が分かりやすく説明展示されていました。特に化石では最先端の分析をしているなど研究への貢献もかなりあるようです。小中学生の遠足で人気な目的地らしく、教育の一環として博物館を利用しているのが興味深かったです。また、大英博物館同様、募金と呼び掛けるのみで無料でした。

### ③ Baker Street and The Sherlock Holmes Museum



シャーロックホームズはロンドンのベーカー街の221番地を仮想しモデルにして書かれています。シャーロックホームズを読んだことはないのですが、ここに来るために小説やドラマを予習する必要がありましたが、場面のセットがそのまま楽しめました。どうしたらシャーロックホームズのように考えることができるかという本もあり勉強になりました。

冬休みものこりわずか2週間になってしまいました。冬休み後からは入試の準備がだんだんとはじまりますが、クリスマスや新年をイギリス風を楽しみたいと思います。